

No.	回答・見解・処理方針の内容
<p>【馬宮地区】 西遊馬地区へ建設中の防災ステーションの建設計画について</p> <p>①土盛り後の工事内容及び期間等について地元説明会の実施を希望する。</p> <p>②埋め立てにより田んぼダムの保水能力が減少したことから、排水能力の強化対応を要望する。</p> <p>③完成後、平常時に広場(グランド)を優先的に地元へ開放してほしい。</p> <p>【追加意見】 防災ステーションの構想段階から、検討の場に馬宮地区の代表を参画させてもらいたい。</p>	<p>①本計画の所管である建設局河川課に確認したところ、国土交通省による盛土工事が完了し、現在、圧密沈下にとりかかっており、その後、切土工事が行われるほか、本市の防水センター建設工事が予定されていると伺っています。なお、防水センターについては、今年度で用途や建物の形状について検討を始める予定とのことであり、検討の進捗に合わせて、地元の皆様への説明を行っていきと聞いております。</p> <p>②排水能力の強化対応については、盛土周辺に水路整備工事が予定されており、それにより排水機能が確保される計画であると聞いてはおりますが、西区役所としても地元の皆様の声、要望を所管に伝えていきます。</p> <p>③第2・3調整池の平常時の利用方法については、ご要望の件も含めまして現在検討中と聞いてはおりますが、この件に関しましては、所管に対し働きかけを行ってまいります。 【西区総務課】</p>
<p>【馬宮地区】 広域避難所の運営について</p> <p>①避難者に対する避難所運営に携わる意識付けについて</p> <p>②水害による避難生活の際、ほぼ全員が被災者となり、片付け等で人手が足りない状況になる中で、避難所運営はできるのだろうか。</p> <p>③複数の自治会から人が集まってくる中で、どのように運営リーダーを決めていけばよいのか。市の担当職員にお願いせざるを得ないのでは。</p> <p>④自主防災会の役員には比較的若い方が多く、生計の主体者でもあることから避難所に何日も話してもらえないのでは。</p> <p>⑤避難所運営の中で、行政担当者やボランティアの方に頼らざるを得ない仕事と避難者がやるべき事とを分離できないか。</p> <p>⑥日中に地震等の災害が発生した際は、指定避難所でもある武蔵野高校の生徒も避難者となり得ることから、防災倉庫の増設を要望してきたが、その後の進捗状況は。</p> <p>⑦要支援者の方への避難支援、搬送に関する行政のサポートについて検討はされているのか。</p> <p>⑧地域に防災アドバイザーの方が多くいれば防災意識も高まり、避難所開設時にも有益と考えるが、その育成等についての担当はどこになるのか。また、アドバイザーの方はどのような活動をされているのか教えてほしい。</p> <p>⑨行政にてマイトタイムラインの雛型を作成して、自治会を通して配布してもらいたい。</p>	<p>①意識付けに関しましては難しい課題ではありますが、協力しあうことの大切さを認識していただきますよう、親子で防災について話し合うきっかけづくりに子供を対象とした防災啓発を行ってまいります。また、防災に対する備えという面に加え、災害が起きたとき自分や家族に直接関係する問題として認識を持っていただくためのリスク情報の提供も重要と考えており、今後は水害対策勉強会等において、実際に被害に遭われた方の体験談を聞く機会を設けることなどについて検討していきたいと考えております。ぜひ地域においても「避難所ではお互いに協力し合うことが大切だ」ということを引き続きアピールしていただきますようお願いいたします。</p> <p>②水が引き、乾燥に要する期間に加え、修繕等を勘案すると、避難生活の長期化が予想され、避難所運営を行う上で一定のルール、規律作りは必要と認識しています。災害時にはマンパワーが必要となりますので、避難所担当職員を中心に可能な範囲で運営にもご協力をいただきたいと思いますと考えております。</p> <p>③避難所の運営については、自治会長など地域のリーダーを中心とした共助として位置付けておりますが、広域避難の際には各地から避難されるなど、様々な状況下が想定されることから、基本的には避難をされた方々で運営していただくことが前提となります。現実的には広域避難の際は、避難所担当職員を中心として避難された方々に協力をお願いせざるを得ない状況になることも考えられますが、いずれにいたしましても、職員並びに避難された方々が互いに協力していただかなければ避難所運営は成り立たないものだと思っております。</p> <p>④避難生活につきましては、生活再建に向けて動き出すと様々な理由から避難所から出ていくことが想定され、特定の方が避難所にずっと詰めていただくというものではないと考えており、また避難所の運営は基本的には避難された方々で運営されていくものとの認識をしております。</p> <p>⑤仕事の分離に関しましては、市で作成した避難所運営マニュアルの中で、行政担当者と避難所運営委員会の役割をある程度線引きしてはおりますが、広域避難場所においてはマニュアル通りには必ずしもいかないものとも認識をしております。その中で、繰り返しにはなりますが、避難所担当職員が中心にならざるを得ない状況下にあつたにしても、避難所の方々の協力は不可欠であり、またボランティアの方に来ていただいた際には、引き受けていただけることはお願いするなど、災害時には臨機応変に対応せざるを得ないものと考えておりますのでよろしくお願いたします。</p> <p>⑥避難所担当職員を通して増設の要望は伺っており、防災課にも伝えてはありますが、県立高校であることから埼玉県との協議も必要となること等から、時間を要していると思われませんが改めて要望してまいります。</p> <p>⑦広域避難に際しての要支援者の方の搬送については、市としても大きな課題であると認識をしております、その解決に向けて関係者等と協議を行っている段階であると聞いております。</p> <p>⑧防災課にて担当しており、資格取得に関する助成も実施しております。西区在住の防災アドバイザーに関しましては、区の総務課においても把握をしており、避難所運営委員会等にも出席をいただき、助言や運営協力をされたり、水害対策勉強会の講師として活動をいただいております。 (後日確認事項/防災アドバイザー：R4年度10人就任。R5年度は20人の予定) 【西区総務課】</p>
<p>【馬宮地区】 自治会役員の成り手探しが難しい。また自治会員減少防止策について</p> <p>①自治会長の負担軽減に向けての取り組みについて</p> <p>②自治会加入促進に向けての取り組みについて</p> <p>③自治会会員の減少による自治会の弱体化を防ぐためにも、自治会加入のメリットを論じてもらうなど、若い人の加入促進にむけての対策を講じてもらいたい。</p>	<p>①昨年の対話集会で出された補助金の負担軽減策につきましては、コミュニティ課及び総務課にかかる3つ補助金に関しまして、書類を一括して送付するとともに、記入の負担軽減、一括受付、休日開庁日における臨時の申請窓口の実施等に取り組みました。今後ともご意見を伺いながら改善に取り組みしてまいります。</p> <p>②加入促進に向けた取組としては、パンフレットの配布、ポスターの掲示のほか、宅地建物取引業協会による物件の販売等の新規契約時における加入促進について協定を結ぶなどの取組を実施しております。</p> <p>③メリットという観点からの答えは、非常に難しいものでありますが、皆様の経験上加入に際して有効だった取組等がございましたら、ご教示願えればと思います。コミュニティ推進課や各区のコミュニティ課とも話し合っておりたいと思いますので、よろしくお願いたします。 【西区コミュニティ課】</p> <p>メリットというお話がありましたが、自治会というのは地域の価値を向上させているものだと思っています。自治会の防犯、防災、美化等の活動は当たり前のことではなくて、自治会あつての活動であり、自治会に入ること地域の価値が上がっていくものと考えます。これを言葉に表現することは難しいのですが、具体的な提案が無くて申し訳ないのですが、私が抱えているイメージはそういうものです。皆さんにも意見をいただきまして、何か少しでも自治会に加入されていない方の思いが変化するような取組をしていきたいと思っています。 【西区長】</p>

